

平成27年10月29日

松江市長 松浦正敬様

松江市総合計画検証委員会
委員長 武田信明

平成27年度松江市総合計画の進捗状況に係る意見

松江市総合計画【平成19年度～平成28年度】に基づき実施する
施策の進捗状況について審議し、その結果について意見をまとめた
ので提出します。

平成 27 年度松江市総合計画検証委員会意見書

松江市総合計画（平成 19 年度～平成 28 年度）に定める主要施策項目の進捗状況について、松江市総合計画検証委員会及び専門部会を開催し、審議したので、その意見の概要と結果について報告する。

第 1 審議の方法

総合計画検証委員会は、平成 19 年度策定した松江市総合計画を実行性の高い効果的な内容のものとし、松江市がめざすべき将来都市像を着実に実現するために、毎年各施策の進行管理を行う目的で設置された。

3つの専門部会（都市部会、経済部会、くらし部会）において、平成 26 年度実績や平成 27 年度以降の予定について、事業担当課からの具体的な説明や事務局の取りまとめた資料等を基に進捗状況を把握し、意見をまとめた。

（1）松江市総合計画検証委員会〔平成 20 年 8 月 1 日設置〕

ア 委員名簿 別紙参照

イ 審議年月日（回数） 平成 27 年 8 月 5 日、10 月 20 日（2 回）

（2）専門部会

ア 部会の構成

① 都市部会（4 名） 武田部会長、錦織委員、原委員、福間委員

② 経済部会（4 名） 坪倉部会長、足立委員、木村委員、西郷委員

③ くらし部会（4 名） マユ一部会長、浅津委員、門脇委員、野田委員

イ 審議年月日（回数）

① 都市部会 平成 27 年 8 月 5 日、8 月 24 日、9 月 1 日（3 回）

② 経済部会 平成 27 年 8 月 5 日、9 月 4 日（2 回）

③ くらし部会 平成 27 年 8 月 5 日、8 月 24 日、9 月 1 日（3 回）

第 2 審議の期間

平成 27 年 8 月 5 日～10 月 20 日

第 3 審議の対象範囲

松江市総合計画〔後期基本計画〕のうち、第 2 部の第 1 章から第 7 章に掲げる主要施策項目（140 項目）及び重点プロジェクトを対象とした。

各専門部会における審議の対象範囲（第 1 章～第 7 章）は、下記のとおりとした。

- (1) 都市部会 第1章、第3章第1節と第2節の一部、第6章第1節の一部と第2節の一部
- ・ 審議対象主要施策項目数 46 項目
 - ・ 目標指標数 108 指標
 - ・ 関係課 28 課
- (2) 経済部会 第2章第2節の一部、第5章、第6章第1節の一部、第7章第1節の一部と第2節
- ・ 審議対象主要施策項目数 42 項目
 - ・ 目標指標数 79 指標
 - ・ 関係課 21 課
- (3) 暮らし部会 第2章第1節と第2節の一部、第3章第2節の一部、第4章、第6章第2節の一部、第7章第1節の一部
- ・ 審議対象主要施策項目数 52 項目
 - ・ 目標指標数 130 指標
 - ・ 関係課 35 課

第4 審議の結果

1 第1章～第7章に掲げる主要施策項目（140項目）の進捗状況について

(1) 審議結果

ア 全体結果

		平成27年度	平成26年度
A	概ね順調に進んでいる。	72 項目 (51.4%)	69 項目 (49.3%)
B	予定どおり事業を進め、引き続き効果を検証することが望ましい。	67 項目 (47.9%)	71 項目 (50.7%)
C	事業効果に疑問あり。目標達成のために手法改善の余地がある。	1 項目 (0.7%)	0 項目 (- %)

イ 部会別内訳

	都市部会		経済部会		暮らし部会	
	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合
A	20	43.5%	22	52.4%	30	57.7%
B	26	56.5%	19	45.2%	22	42.3%
C	0	- %	1	2.4%	0	- %
計	46	100.0%	42	100.0%	52	100.0%

ウ ABC評価の状況

	同じ評価のもの			評価が上がったもの			評価が下がったもの			合計
	A→A	B→B	C→C	B→A	C→A	C→B	A→B	A→C	B→C	
都市部会	16	25		4			1			46
経済部会	12	12		10			7	1		42
くらし部会	23	13		7			9			52
合計	51	50		21			17	1		140

(2) 所見

ア 全体所見

- 今年度は、審議結果のように、140項目中、A評価が72項目（51.4%）B評価が67項目（47.9%）C評価は1項目（0.7%）であった。昨年度と比較するならA評価が若干増加したものの、ほぼ去年並みとなった。総合計画も年数を重ね、目標指数の設定や各年度の事業計画の策定などが円滑に行われるようになったことも評価の高い水準での安定につながっていると考えられる。ただし、昨年度から18項目が評価が下がっていることも事実であり、該当の事業は十分な検証が必要であると思われる。
- 今年度高い評価が集中した事業としては、「都市部会」における消防関連事業や、「くらし部会」の「子育て支援・児童福祉」などがあげられる。これらの事業は、ここ数年高い評価が続いている、つまり事業がきわめて順調であると同時に効果的に展開していると評価できる。特に、「子育て支援・児童福祉」は、地方創生における若い女性の定住化にとってきわめて重要な因子となると考えられ、検証委員会の評価を含め、積極的に広報するべきではないかと提言しておく。
- 一方、行政としては当然の事業ではあるものの、短期間では評価がしがたい施策、その効果がすぐにあらわれない事業も多く存在し、それらは評価的にはB評価とならざるをえない。次期総合計画策定に向けて、さらなる項目の絞込みが必要ではないかと考えられる。

イ 部会別所見

【都市部会】

- ・ 都市部会は 46 項目について検証を行った。評価としては、46 項目中、A評価 20 項目、B評価 26 項目、C評価 0 項目であった。昨年度と大きな変化はなく、総括としては、おおむね順調に事業が展開されていると判断できる。年度ごとの事業見直しが必要な項目に関しても、妥当な作業が遂行されていると判断できる。昨年度同様、C評価となった事業が無かったことも評価できるだろう。
- ・ 今年度、各委員から高い評価を得た施策としては、「消防・救急体制の充実」（総合計画第 3 章第 1 節）「上下水道の整備」（総合計画第 6 章第 2 節）などがあげられる。昨年度も高い評価であったことと併せて考えるなら、消防や水道といった市民生活の根幹に関わる事業が、順調に計画通り整備・充実されていることの証拠であろうと言えるだろう。
- ・ 一方、懸念が指摘されたのが、「松江市都市計画マスタープラン」の中間見直しの遅れである。昨年度も同様の指摘を行ったが、問題が解決されていない。そのため「市街地の整備」（総合計画第 6 章第 1 節）では事業は展開されていない事態となっている。複雑な問題が介在しているという事情は考慮できるとしても、早期の計画策定と事業展開を要望したい。また中心市街地の活性化に関しても、事業はけっして順調ではないと判断される。引き続いての検討と努力を期待したい。

【経済部会】

- ・ 経済部会は 42 項目について審議を行った。
- ・ A B C 評価としては、全体の約半分にあたる 22 項目が A 評価、19 項目が B 評価、1 項目が C 評価となった。また、昨年 B 評価だったものが A 評価になるなど評価が上がった項目が 10 項目、評価を下げた項目が 8 項目あった。全体としては順調に取り組みが進んでいると考えられる。
- ・ C 評価は、第 5 章の「林業の振興」の「担い手の育成と確保」であった。難しい問題とは思いますが、事業の効果があまり見られないので、より一層の有効な担い手支援策を再検討すべきではないかというものであった。

- ・ 分野別では、第6章の「港湾の整備」、第7章の「開かれた市政の取り組み」、「効率的な行政運営」、「財政運営」、「広域連携・他圏域との交流」などが、前期の評価も含め、安定的に比較的高い評価となっており、着実に取り組んでいると考えられる。

【くらし部会】

- ・ 全52項目の主要施策について審議を行った結果、A評価が30項目、B評価が22項目となった。2年連続で前年を若干下回る結果となったことは残念であるが、6割近い項目がA評価であることや、C評価がないことなどを勘案すると、全体的には概ね良好であると評価できる。
- ・ とりわけ、「子育て支援・児童福祉」「健康づくり」「医療体制の充実」の分野は、関係機関がきめ細やかに連携し事業を推進している点等が高く評価され、全ての主要施策項目がA評価となっており、特に順調であると認められる。
また、A評価となった施策のなかには、昨年度のB評価から1ランク上がった項目が7項目含まれている。いずれもこれまでの継続した取り組みが成果となって現れつつあることを評価したという点で共通している。
- ・ 一方で、昨年度のA評価からB評価に1ランク下がった項目が9項目ある。その理由としては、
 - 他部局との連携、費用対効果を見通した事業の展開が必要と思われる施策【文化の振興、スポーツの振興】
 - 事業の趣旨の現場への徹底が必要と思われる施策【教育内容の充実】
 - 社会環境の変化、課題が多様化する中、事業効果等について検証が必要と思われる施策【教育環境の整備・充実、生涯学習の推進と青少年の育成】
 - 事業を推進するうえで、さらに官民一体となった機運の醸成が必要と思われる施策【市民と行政の協働】
 などが挙げられる。
これらも含め、B評価となった施策については、引き続き粘り強く取り組みを継続する一方で、事業の効果を検証し、より実効性の高い取り組みを再検討するなど、目標の達成に向けて一層の工夫をお願いしたい。

2 重点プロジェクトの進捗状況について

(1) 審議結果

ア 全体結果

		平成 27 年度	平成 26 年度
A	概ね順調に進んでいる。	46 項目 (54.8%)	39 項目 (46.4%)
B	予定どおり事業を進め、引き続き効果を検証することが望ましい。	37 項目 (44.0%)	45 項目 (53.6%)
C	事業効果に疑問あり。目標達成のために手法改善の余地がある。	1 項目 (1.2%)	0 項目 (-%)

イ プロジェクト別内訳

	重点プロジェクト 1 〔定住の促進〕		重点プロジェクト 2 〔安心・安全なまちづくり〕		重点プロジェクト 3 〔ポスト 400 年祭〕	
	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合
A	26	57.8%	18	50.0%	2	66.7%
B	18	40.0%	18	50.0%	1	33.3%
C	1	2.2%	0	-%	0	-%
計	45	100.0%	36	100.0%	3	100.0%

ウ ABC 評価の状況

	同じ評価のもの			評価が上がったもの			評価が下がったもの			合計
	A→A	B→B	C→C	B→A	C→A	C→B	A→B	A→C	B→C	
重点プロジェクト 1	17	13		9			5	1		45
重点プロジェクト 2	15	17		3			1			36
重点プロジェクト 3		1		2						3
合計	32	31		14			6	1		84

(2) 所見

- 今年度は、重点プロジェクト 84 項目において、A評価 46 項目 (54.8%)、B評価 37 項目 (44.0%)、C評価 1 項目 (1.2%) であった。C評価の 1 項目は問題であるものの、それを除けば昨年よりかなり A評価が増加しており、前年の指摘をうけて、施策遂行に力が発揮されたものと評価できる。
- 内容の分析に関しては、「全体所見」とほぼ同様の内容であり、そちらを参照していただきたい。

松江市総合計画検証委員会委員名簿

No.	氏名	所属及び役職	所属部会	備考
1	浅津 寿広	一般公募委員	くらし	
2	足立 和昭	(一社)松江青年会議所理事	経済	
3	門脇 誉	一般公募委員	くらし	
4	木村 和夫	松江商工会議所専務理事	経済	
5	西郷 克典	(株)山陰合同銀行地域振興部担当部長	経済	
6	武田 信明	島根大学法文学部教授	都市	委員長
7	坪倉 公治	松江工業高等専門学校名誉教授	経済	
8	錦織 泰治	連合島根松江隠岐地域協議会事務局長	都市	
9	野田 恵子	元美保関地域協議会委員	くらし	
10	原 美江	松江市公民館長会(白湯公民館長)	都市	
11	福間 俊夫	元玉湯地域協議会委員	都市	
12	マユー あき	島根県立大学短期大学部教授	くらし	副委員長

(50音順、敬称略)

松江市総合計画検証委員会項目別意見(1~7章)

A :概ね順調に進んでいる。
 B :予定どおり事業を進め、引き続き効果を検証することが望ましい。
 C :事業効果に疑問あり。目標達成のために手法改善の余地がある。

章	節	基本施策項目 【全49】	主要施策項目 【全140】	実施 計画 (各章 のP)	＜参考＞		部会意見		
					前期総 括評価 (H19- 23)	前年度 実施計 画評価	所管 部会	A~C	特記事項
1	1	1 自然環境 の保全・活 用	1 自然環境の保全と復 元	1	B	B	都市	A	宍道湖・中海・堀川の水質の浄化が進んでおり一定の評価はできる。 一方、その年の天候に左右される要素も大きく、絶対的な指標の策定も検 討されてはいかかがか。
			2 自然環境の活用	3	B	A	都市	B	指定管理の3施設ともに平成25年度比で利用者数が減少しており、理由 の分析が必要である。 3施設に関しては冬の閑散期の利用促進策が必要ではないか。指定管理 者の利用拡大への各種企画に対する財政的支援なども検討していただきた い。 No.109の事業は、全ての年度が同じ表記になっており、具体的内容を記載 するなど工夫が必要。
		2 循環型社 会の構築	1 生活環境の整備	5	A	A	都市	A	一定の成果があがっており評価できる。 観光都市としてきれいなまちづくり条例推進地域も増加している。
			2 ごみを減らす取り組 みの推進	6	B	B	都市	B	ごみの減量は難問であるが、会議の席上でうかがった「水きりによる軽量 化」など、今後も啓発事業は有効であると考えられる。
			3 資源の有効利用の 推進	7	A	A	都市	A	リサイクルステーションの一層の拡大に期待するとともに、各ステーショ ンごとの一定期間でのリサイクル実績を金額ベース等で表示することによるリ サイクルの見える化の工夫も必要ではないか。
		3 地球環境 の保全	1 低炭素社会の実現	8	B	B	都市	B	
	2 環境と経済の両立		10	A	B	都市	B	エコファーマー認定者数増よりエコファーマー商品の高価値PRが先ではな いか。 県の事業とはいえ松江市独自の試みがあってもよいのではないか。	
	4 市民参加	1 環境意識の高い人 づくり	11	B	A	都市	A	出前講座などの取り組みや、くりんぴーす利用者の増加など高く評価でき る。今後も努力をお願いしたい。	
			2 行動できる体制づく り	13	B	B	都市	B	
	2	1 景観形成	1 良好な景観の保全・ 創造・継承	14	A	A	都市	A	松江城の国宝化という大きな動きがあった。これを受けてさらなる景観整 備への努力が必要となると思われる。今後に期待したい。
			2 歴史的風致の維持・ 向上	16	新規	B	都市	B	新事業(歴史的建造物保存事業)に着手されたことを評価する。観光都市 松江には必要な事業だと理解できる、今後の進捗を見守っていきたい。
		2 公園緑地 の整備	1 公園緑地の整備	17	B	B	都市	B	現状の確認の上で、取り組みの見直しながなされている点は評価できる。引 き続き実態に即した対応が必要だと思われる。 公園数、面積も重要だが、利用状況の把握や住民アンケートなど、利用者 サイドのニーズ調査を検討されてもいいのではないか。
			2 緑化の推進	18	B	B	都市	B	諸事情から施策が停止している点は充分理解できる。しかし、そういう時こ そ将来的・長期的な観点からの再検討も必要となってくるのではないか。

A :概ね順調に進んでいる。
 B :予定どおり事業を進め、引き続き効果を検証することが望ましい。
 C :事業効果に疑問あり。目標達成のために手法改善の余地がある。

章	節	基本施策項目【全49】	主要施策項目【全140】	実施計画(各章のP)	＜参考＞		部会意見			
					前期総括評価(H19-23)	前年度実施計画評価	所管部会	A～C	特記事項	
2	1	1 教育内容の充実	1 小中学校教育の充実	1	A	A	くらし	B	先進地の視察で得られた知見が教育現場で活かされ、徹底されるための一層の努力を期待する。 学校・家庭・地域が協働し、地域ぐるみの教育が進んできているが、引き続き一貫教育の充実を図り、全体的に底上げていく必要がある。	
			2 特別支援教育の充実	6	A	A	くらし	A		
			3 高等学校教育の充実	8	A	A	くらし	B	ボランティア参加人数も増え、地域連携も順調に進んできていると思うが、人口減少等、女子高を取り巻く環境は年々厳しさを増しているため、定員割れないよう、魅力ある学校づくりが必要と考える。 あえて、女子高として存続していく意味を改めて問い直してみる必要はないだろうか。	
		2 教育環境の整備・充実	1 学習環境・学校施設の整備	10	A	A	くらし	A		
			2 健康教育の推進	13	新規	B	くらし	A		
			3 学校給食事業の充実と食育の推進	15	A	B	くらし	A	地産地消はもとより、農業体験等の参加型学習を継続し、生産過程や生産者の苦労も知ることができるような取り組みを進められたい。	
			4 私学教育の充実・振興	16	B	A	くらし	B		
			5 高等教育機関との連携	18	B	A	くらし	A		
		2	1 生涯学習の推進と青少年の育成	1 生涯学習の推進	21	A	A	くらし	A	
				2 公民館の整備と機能充実	23	B	B	くらし	A	支所・公民館の機能の複合化、遊休施設の活用等の取り組みは評価できる一方、今後、様々な活動の実態に合う機能的な単位での設置についても検討してはどうか。 次世代を担うリーダーの育成と活動の活性化に期待したい。
	3 図書館をはじめとする生涯学習関連施設の機能充実			24	A	A	くらし	B	幅広い世代の利用者からの声を聞くなどして、利用者数が減少する要因を把握し、利便性向上などを図られたい。	
	4 青少年の育成・支援			25	A	A	くらし	B	子どもの貧困問題に関し、官民一体となった協力体制の構築が必要である。	
	2 人権施策の推進		1 人権施策の推進	27	A	B	くらし	B	人権施策の対象となる領域は広がっているが、それに対して行政としての対応が十分追いついているのかどうか、今一度、検証していただきたい。	
	3 国際交流の推進		1 諸外国との交流の推進	29	A	B	経済	B	交流事業からインバウンドへ進化させる必要があると思われる。	
			2 国際理解の推進	30	A	A	経済	B	市民の国際理解を推進する具体的な啓発活動が必要と思われる。	
			3 国際化に対応したまちづくり	31	A	B	経済	A		
	4 文化の振興		1 指定文化財の保存・活用	32	A	A	くらし	A	官民一体となった活動の展開により、念願の松江城の国宝化の実現とその背景となった歴史的資料等の発見の成果は図り知れないものがある。今後の活用について期待する。	
			2 埋蔵文化財の保存・整備	35	A	A	くらし	B	埋蔵文化財のあり方を含めた活用策を検討していく必要がある。	
		3 文化・芸術の振興	37	A	B	経済	B	伝統芸能の具体的な伝承対策および多様な文化への対応について考える必要があると思われる。		
		4 松江城国宝化推進	38	新規	B	経済	A			
	5 スポーツの振興	1 スポーツ振興	39	A	A	くらし	B	健康福祉部と連携し、「市民の健康づくりとしてのスポーツ」という視点からの事業展開の可能性探っていただきたい。		
2 スポーツ施設の充実		42	A	A	くらし	B	施設改修の視点だけではなく、その後の利用等、費用対効果を見通した施策が必要である。			

A :概ね順調に進んでいる。
 B :予定どおり事業を進め、引き続き効果を検証することが望ましい。
 C :事業効果に疑問あり。目標達成のために手法改善の余地がある。

章	節	基本施策項目 【全49】	主要施策項目 【全140】	実施 計画 (各章 のP)	＜参考＞		部会意見		
					前期総 括評価 (H19- 23)	前年度 実施計 画評価	所管 部会	A~C	特記事項
3	1	1 危機管理 体制の充実	1 防災体制の整備	1	A	B	都市	B	屋内告知端末の普及が頭打ち状態であり、情報収集手段は多様化しており、より多くの市民に防災情報が行きわたる新たな施策も必要かと考える。屋外スピーカーの設置事業は完了したとのことだが、風向きによっては聞こえない所もあるので、今後も細かな対応をお願いしたい。
			2 地域防災力の強化	3	新規	B	都市	B	引き続き自主防災隊のリーダー研修を進めていただくようお願いしたい。
			3 原子力安全対策	4	B	B	都市	B	市民の関心は高い。引き続きの広報・広聴活動が必要である。また専門的知識をもった職員の研修制度や、その現状などを積極的にPRしてはいかか。
			4 原子力防災体制の整備	5	B	B	都市	B	原発事故を受け、近年市民の防災意識も非常に高まっている。行政としてもより一層の意識高揚と体制確立が必要。
			5 国民保護計画の整備	7	B	B	都市	B	
		2 河川・水辺 の整備・保 全	1 治水事業の推進	8	新規	A	都市	A	大橋川周辺まちづくり検討事業は、観光事業・景観保全等様々な可能性を秘めている。社会実験の継続的発展に期待する。特に川の駅構想の実現に期待する。
			2 浸水防止対策の実施	11	A	A	都市	A	事業は順調であると判断できる。今後も市内の家屋が浸水被害にあわないよう、よろしくをお願いしたい。
			3 土砂災害対策の実施	12	B	B	都市	B	急傾斜地崩壊対策事業を県にさらに強く働きかけていただきたい。
			4 河川環境の保全と浄化	14	B	B	都市	B	河川愛護団数は目標をほぼ達成している。しかし、高齢化が進むため、維持していく事が今後重要になると思われる。
		3 消防・救急 体制の充実	1 消防力の強化	15	A	A	都市	A	署所再編は順調である。消防団員確保に向け、地域住民の意識高揚策も必要ではないか。
	2 救急・救助体制の充実		17	A	A	都市	A	AED活用の研修など、地元普及員と合同で行えば更になごやかになるかと思われる。地元普及員のさらなる活用もご検討いただきたい。	
	2	1 防犯対策 の充実	1 防犯対策の充実	18	A	A	都市	A	警察他関係機関との連携強化をしていただきながら、防犯カメラの計画的な早期増設をお願いする。
			2 交通安全 対策の充実	1 交通安全環境の整備	19	B	B	都市	B
		2 交通安全施策の推進		20	A	A	都市	A	
3 消費生活 の向上		1 消費者の自立支援	21	A	A	くらし	A	関連組織の連携の強化が進み、地道ではあるが、市民の意識改革に寄与しつつある。	
		2 消費生活相談	22	A	A	くらし	A		
4 市民相談 体制の充実		1 市民相談	23	A	B	くらし	B	専門家に相談者をつなぐだけに終わらないよう、行政が提供する「専門相談」を受けるにあたってのルールの確立が望まれる。	

A :概ね順調に進んでいる。
 B :予定どおり事業を進め、引き続き効果を検証することが望ましい。
 C :事業効果に疑問あり。目標達成のために手法改善の余地がある。

章	節	基本施策項目【全49】	主要施策項目【全140】	実施計画(各章のP)	＜参考＞		部会意見		
					前期総括評価(H19-23)	前年度実施計画評価	所管部会	A~C	特記事項
4	1	1 子育て支援・児童福祉	1 在家庭児童への対応	1	A	A	くらし	A	関連組織との連携・協力の強化が進み、充実した体制の構築がなされつつある。
			2 保育サービス等の充実	2	A	A	くらし	A	関連組織との連携・協力の強化が進み、充実した体制の構築がなされつつある。
			3 就学前児童の教育・保育環境の充実	5	A	A	くらし	A	関連組織との連携・協力の強化が進み、充実した体制の構築がなされつつある。
	2	1 地域福祉の推進	1 人づくり・地域づくりの推進	6	A	B	くらし	A	
			2 福祉サービスが利用しやすい環境整備	7	新規	B	くらし	B	社会的ニーズが高まっていく市民後見人養成に、引き続きご努力をいただき、第一号誕生につなげていただきたい。
			3 要援護者の安全・安心確保	8	新規	B	くらし	B	制度の理解が進んでいないところもあるので、更に周知を図られたい。
			4 生活課題の解決	9	新規	B	くらし	B	これからの成果に期待したい。
		2 高齢者福祉の充実	1 社会参加と生きがいづくり	10	B	B	くらし	B	施策がマンネリ化しているように見受けられる。社会状況の変化に対応した高齢者の活用のあり方、PRの仕方を再検討する必要があるのではないかと。
			2 介護予防の推進	11	A	B	くらし	A	「まめなかチェック」等、施策の理解が浸透している。また、高齢者に向けた「運動 + α」の新しい試みは、高齢者のニーズに応えるもので今後の発展が期待される。
			3 認知症対策の推進	13	新規	B	くらし	B	事業の方向性としては、現状を維持しつつ、更なる浸透とこれからの成果に期待したい。
	3 障がい者(児)福祉の充実	1 自立支援	16	A	B	くらし	B	行政は、事業者が障がい者を受け入れる際の物理的・心理的なハードルを下げるために、サポートやPRをもっと考える必要があるのではないかと。	
		2 地域生活支援	17	A	A	くらし	A	関連組織の連携の強化等により、理解が浸透し、成果が向上している。	
	4 社会保障の充実	1 国民健康保険	19	A	A	くらし	A	各課の縦割りでの取り組みを超えて、関連各課の連携した事業展開を更に進めていただきたい。	
		2 国民年金	21	A	B	くらし	B	事業効果を検証しつつ、事業を進められたい。	
		3 後期高齢者医療制度	22	A	B	くらし	B	事業効果を検証しつつ、事業を進められたい。	
		4 生活保護	23	A	A	くらし	A	受給者の減少等に地道な行動施策が生きている。	
	3	1 健康づくり	1 母子の健康	25	A	A	くらし	A	市民の要望にマッチした施策の実施等、安心して子育てができる環境づくりが進展している。
			2 成人・高齢者の健康	27	B	A	くらし	A	
			3 市民参加による地域の取り組み	29	A	B	くらし	A	
			4 感染症対策	31	A	A	くらし	A	
		2 医療体制の充実	1 地域医療体制の充実	32	A	A	くらし	A	
			2 救急医療体制の充実	33	A	B	くらし	A	
			3 松江市立病院との連携	34	A	A	くらし	A	
4 医療費助成の継続			35	A	A	くらし	A		

A :概ね順調に進んでいる。
 B :予定どおり事業を進め、引き続き効果を検証することが望ましい。
 C :事業効果に疑問あり。目標達成のために手法改善の余地がある。

章	節	基本施策項目 【全49】	主要施策項目 【全140】	実施 計画 (各章 のP)	＜参考＞		部会意見		
					前期総 括評価 (H19- 23)	前年度 実施計 画評価	所管 部会	A~C	特記事項
5	1	1 農業の振興	1 多様な担い手の育成	1	B	B	経済	B	もう少し法人化や経営面についての助言・サポートが必要ではないか。
			2 地域の特徴ある生産構造の構築と地産地消	2	B	B	経済	B	畑作強化に向けて、新たな商品作物の調査・研究が必要ではないか。
			3 優良農地の確保と生産基盤の整備	4	A	B	経済	A	
			4 鳥獣被害対策	6	B	B	経済	B	被害額の削減に向けて、より一層の対策を講じられたい。
		2 林業の振興	1 担い手の育成と確保	7	B	A	経済	C	ほとんど効果が出ていないので、有効な担い手支援策を検討されたい。
			2 森林資源の保全と活用	8	B	B	経済	B	本来の木材活用を検討すべきである。また、拡大造林対策がもっと必要ではないか。
			3 林道の整備	9	A	A	経済	B	集材システムの変化に対応しながら、林道整備を考えるべきではないか。
		3 水産業の振興	1 海面漁業の基盤整備	10	B	A	経済	B	海面漁業基盤整備の内容とすべきではないか。
			2 漁業担い手の育成及び確保	11	A	B	経済	B	担い手育成の有効な手立てを検討する必要があるのではないか。
			3 つくり育てる漁業の推進	12	A	B	経済	B	事業評価と将来展望について、検討されたい。
			4 内水面漁業の振興	13	A	A	経済	A	
		4 商工業の振興	1 地場産業の活性化	14	B	B	経済	B	和菓子にこだわらず、もっと活性化する手立てを検討すべきではないか。
	2 ものづくり産業の振興・新産業の創出		16	B	B	経済	A		
	3 商工業者の経営支援		19	B	A	経済	B	資金支援以外の事業継承の支援等も必要ではないか。	
	4 中心商店街・地域商業の振興		21	新規	B	経済	B	将来のまちづくりを考えるなかで商店街のあり方を考える必要があるのではないか。	
	5 地域商業機能の維持向上		22	新規	B	経済	A		
	6 農水産業の連携推進		23	新規	A	経済	B	もう少し積極的な販路開拓支援を検討されたい。	
	7 企業誘致の推進		24	A	A	経済	A		
	5 雇用環境の整備	1 就業支援	25	A	B	経済	A		
		2 勤労者福祉の充実	27	A	A	経済	B	新たな勤労者福祉の充実策について検討されたい。	
	2	1 観光の振興	1 観光資源の活用	28	A	A	経済	A	
			2 まちあるき観光の推進	31	新規	B	経済	A	
			3 産業と連携した観光の推進	32	A	B	経済	B	目的を再確認のうえ、多様な産業との連携や新しい食の開発など、事業の再構築が考えられないか。また、効果的なPRの実践が必要と思われる。
			4 情報発信の充実	33	A	B	経済	A	
2 滞在型観光の推進	1 滞在型観光の推進	34	A	B	経済	B	滞在型観光のバリエーションが不十分と思われる。		
	2 広域連携による観光の推進	35	A	A	経済	B	狙うべきターゲットを科学的に調査のうえ、連携先を選択する必要があると思われる。		
3 国際観光の振興	1 外国人観光客の誘致	36	A	B	経済	A			

A :概ね順調に進んでいる。
 B :予定どおり事業を進め、引き続き効果を検証することが望ましい。
 C :事業効果に疑問あり。目標達成のために手法改善の余地がある。

章	節	基本施策項目【全49】	主要施策項目【全140】	実施計画(各章のP)	＜参考＞		部会意見			
					前期総括評価(H19-23)	前年度実施計画評価	所管部会	A~C	特記事項	
6	1	1 道路網の整備	1 安心して暮らせる道路の整備・維持管理	1	A・B	A	都市	A		
			2 歩道・自転車道の整備	4	B	B	都市	B	歩道整備計画の説明を受けたが、しっかり計画されていると評価できる。着実な事業展開を期待したい。	
			3 広域・幹線道路の整備・耐震化	6	B	B	都市	B		
			4 高速道路の整備促進	8	B	B	都市	B		
	2	2 公共交通体系の整備	1 バス交通の維持・充実	9	B	A	都市	A	交通弱者のためのコミュニティバス運行は重要な施策であると考えられる。一方、費用も相当な額にのぼっているため、代替となる事業の検討も必要であると思われる。 さまざまなバス・サービス事業の取り組みは評価できる。ただ市街地から中心地への料金が低いことも事実である。	
			2 航空路の維持・充実	13	A	A	都市	A		
			3 鉄道の維持・充実	14	B	B	都市	A		
			4 航路の維持・充実	15	B	B	都市	A		
			5 国際線の維持・充実	16	新規	B	都市	A		
	3	3 市街地の整備	1 既成市街地の充実	17	新規	B	都市	B	既成市街地の高密度化は、困難をきわめる。そのため行政と住民とが一体となったまちづくりへの意識の高揚が求められる。	
			2 中心市街地の整備	18	B	B	都市	B	行政と住民とが一体となったまちづくりへの意識の高揚が求められる。千鳥町再生事業は順調であるが、事業完成後の活性化の見通しに不安も覚える。検討していただきたい。	
			3 地域拠点の整備	20	A	B	都市	B		
	4	4 港湾の整備	1 港湾の整備	21	A	A	経済	A		
	5	5 情報通信環境の整備	1 地域情報通信基盤の利活用	22	新規	B	都市	B		
	2	1	1 住宅等の整備	1 安心・安全な住宅・宅地の供給	23	新規	B	都市	B	安心安全な住宅と福祉施設との線引きが一市民としてわかりづらい。
				2 既存住宅ストックの活用	25	新規	B	都市	B	増えていく空き家、その対策として中古住宅の再利用が益々重要になっていくと思われる。ご尽力いただきたい。
		2	2 上下水道の整備	1 上水道の整備	27	A	A	都市	A	概ね順調に推移している。計画に沿った引き続きの事業推進を見守りたい。おいしい上水道「緑の水」のPRはうまくできている。
				2 簡易水道の整備	29	A	A	都市	A	概ね順調に推移している。安定給水が最重要であるので今後も事業を見守っていききたい。
				3 未水洗化の解消	31	新規	B	都市	B	引き続き事業主体としての市役所と関連会社との連携しての取り組みを注視する。
				4 下水道事業の効率的・安定的な経営	32	A	A	都市	A	概ね順調である。第一次松江市下水道事業経営戦略プランに沿って進められたい。
3		3 墓地・斎場の管理運営	1 墓地・斎場の管理運営	34	A・B	B	くらし	B	墓や埋葬方法に対する考え方の変化を踏まえ、行政としても多様な埋葬方法の選択肢を市民に提示してみてもどうか。	

A :概ね順調に進んでいる。
 B :予定どおり事業を進め、引き続き効果を検証することが望ましい。
 C :事業効果に疑問あり。目標達成のために手法改善の余地がある。

章	節	基本施策項目 【全49】	主要施策項目 【全140】	実施 計画 (各章 のP)	＜参考＞		部会意見			
					前期総 括評価 (H19- 23)	前年度 実施計 画評価	所管 部会	A~C	特記事項	
7	1	1 市民と行政の協働	1 市民と行政の協働	1	A	A	くらし	B	共創のまちづくりの趣旨・活動が、まだまだ市民に浸透していない感がある。市民の意識を醸成する働きかけを期待したい。	
			2 町内会・自治会との連携	2	B	B	くらし	B	アパート・マンションの自治会加入を促進するための行政側としての努力を引き続きお願いしたい。	
			3 ボランティア団体・NPO法人との連携	3	A	A	くらし	A	今後、コーディネーターの配置と育成が望まれる。	
			4 市民活動の支援	4	A	A	くらし	A		
			5 地域活性化に必要な活動の支援	7	新規	B	くらし	B	人口の減少等、多様・複雑化する生活環境に対応できる施策の策定等、これからの成果に期待したい。	
		2 男女共同参画社会の実現	1 男女共同参画施策の推進	8	A	A	くらし	A	徐々にではあるが、性別に関係なく、お互いの個性を尊重し、能力を発揮できる社会環境づくりが進展しつつある。企業への働きかけは有効であると考ええる。	
			3 開かれた市政の取り組み	1 広報活動の推進	10	A	A	経済	A	
				2 広聴活動の推進	11	A	A	経済	A	
		3 情報公開の推進		12	A	A	経済	A		
		2	1 効率的な行政運営	1 行政の効率的な組織と事務事業の見直し	13	A	A	経済	A	
	2 人事管理、人材育成			14	A	A	経済	A		
	3 電子自治体			15	A	A	経済	A		
	2 財政運営		1 持続可能な財政運営	16	A	A	経済	A		
			3 広域連携・他圏域との交流	1 宍道湖・中海圏域の連携推進	17	A	A	経済	A	
	2 他圏域との交流の促進			18	A	B	経済	A		

◆松江市総合計画検証委員会項目別意見
(重点プロジェクト)

A :概ね順調に進んでいる。
B :予定どおり事業を進め、引き続き効果を検証することが望ましい。
C :事業効果に疑問あり。目標達成のために手法改善の余地がある。

重点プロジェクト	大項目	中項目	小項目 (主要施策項目)	章	節	実施 計画 (各章の P)	所管 部会	(参考) 前年度 意見	部会意見 A~C	備考
1 定住の促進	1 働く支援	1 農業	多様な担い手の育成	5	1	1	経済	B	B	
			地域の特色ある生産構造の構築と地産地消	5	1	2	経済	B	B	
			優良農地の確保と生産基盤の整備	5	1	4	経済	B	A	
		2 林業	担い手の育成と確保	5	1	7	経済	A	C	
			林道の整備	5	1	9	経済	A	B	
		3 水産業	海面漁業の基盤整備	5	1	10	経済	A	B	
			漁業担い手の育成及び確保	5	1	11	経済	B	B	
			つくり育てる漁業の推進	5	1	12	経済	B	B	
			内水面漁業の振興	5	1	13	経済	A	A	
			港湾の整備	6	1	21	経済	A	A	
		4 商工業	地場産業の活性化	5	1	14	経済	B	B	
			ものづくり産業の振興・新産業の創出	5	1	16	経済	B	A	
			商工業者の経営支援	5	1	19	経済	A	B	
			中心商店街・地域商業の振興	5	1	21	経済	B	B	
			地域商業機能の維持向上	5	1	22	経済	B	A	
		5 企業誘致	企業誘致の推進	5	1	24	経済	A	A	
		6 就業支援	就業支援	5	1	25	経済	B	A	
		7 広域連携	宍道湖・中海圏域の連携推進	7	2	17	経済	A	A	
			他圏域との交流の促進	7	2	18	経済	B	A	
		2 住む支援	1 住宅	安心・安全な住宅・宅地の供給	6	2	23	都市	B	B
	既存住宅ストックの活用			6	2	25	都市	B	B	
	2 バス		バス交通の維持・充実	6	1	9	都市	A	A	
	3 中心市街地		中心市街地の整備	6	1	18	都市	B	B	
	4 地域拠点		地域拠点の整備	6	1	20	都市	B	B	
	3 生み育てる支援	1 就学前	在家庭児童への対応	4	1	1	くらし	A	A	
			保育サービス等の充実	4	1	2	くらし	A	A	
			就学前児童の教育・保育環境の充実	4	1	5	くらし	A	A	
			母子の健康	4	3	25	くらし	A	A	

◆松江市総合計画検証委員会項目別意見
(重点プロジェクト)

A :概ね順調に進んでいる。
B :予定どおり事業を進め、引き続き効果を検証することが望ましい。
C :事業効果に疑問あり。目標達成のために手法改善の余地がある。

重点プロジェクト	大項目	中項目	小項目 (主要施策項目)	章	節	実施 計画 (各章の P)	所管 部会	(参考) 前年度 意見	部会意見 A~C	備考	
1 定住の促進	3 生み育てる支援	2 小中学校	学習環境・学校施設の整備	2	1	10	くらし	A	A		
			学校給食事業の充実と食育の推進	2	1	15	くらし	B	A		
		3 一貫教育	小中学校教育の充実	2	1	1	くらし	A	B		
			特別支援教育の充実	2	1	6	くらし	A	A		
		4 青少年	青少年の育成・支援	2	2	25	くらし	A	B		
			市民活動の支援	7	1	4	くらし	A	A		
		5 障がい者(児)	特別支援教育の充実	2	1	6	くらし	A	A	再掲	
			自立支援	4	2	16	くらし	B	B		
			地域生活支援	4	2	17	くらし	A	A		
		6 医療	救急医療体制の充実	4	3	33	くらし	B	A		
			医療費助成の継続	4	3	35	くらし	A	A		
		4 高齢者がいきいき暮らせる支援	1 住まい	安心・安全な住宅・宅地の供給	6	2	23	都市	B	B	再掲
				既存住宅ストックの活用	6	2	25	都市	B	B	再掲
	2 社会参加・いきがい		社会参加と生きがいづくり	4	2	10	くらし	B	B		
	3 健康づくり		成人・高齢者の健康	4	3	27	くらし	A	A		
			市民参加による地域の取り組み	4	3	29	くらし	B	A		
	4 医療		地域医療体制の充実	4	3	32	くらし	A	A		
	5 介護／認知症対策		介護予防の推進	4	2	11	くらし	B	A		
			介護サービス	4	2	14	くらし	A	A		
			認知症対策の推進	4	2	13	くらし	B	B		
2 安心・安全なまちづくり	1 災害に強い都市基盤整備		1 道路	広域・幹線道路の整備・耐震化	6	1	6	都市	B	B	
		高速道路の整備促進		6	1	8	都市	B	B		
		安心して暮らせる道路の整備・維持管理		6	1	1	都市	A	A		
		2 治水	治水事業の推進	3	1	8	都市	A	A		
			浸水防止対策の実施	3	1	11	都市	A	A		
		3 安心・安全な住宅・宅地	安心・安全な住宅・宅地の供給	6	2	23	都市	B	B		
			既存住宅ストックの活用	6	2	25	都市	B	B		
			既成市街地の充実	6	1	17	都市	B	B		

◆松江市総合計画検証委員会項目別意見
(重点プロジェクト)

A : 概ね順調に進んでいる。
B : 予定どおり事業を進め、引き続き効果を検証することが望ましい。
C : 事業効果に疑問あり。目標達成のために手法改善の余地がある。

重点プロジェクト	大項目	中項目	小項目 (主要施策項目)	章	節	実施 計画 (各章の P)	所管 部会	(参考) 前年度 意見	部会意見 A~C	備考
2 安心・安全なまちづくり	1 災害に強い都市 基盤整備	4 避難施設	公園緑地の整備	1	2	17	都市	B	B	
			学習環境・学校施設の 整備	2	1	10	くらし	A	A	
			公民館の整備と機能充 実	2	2	23	くらし	B	A	
			スポーツ施設の充実	2	2	42	くらし	A	B	
		5 上下水道	上水道の整備	6	2	27	都市	A	A	
			簡易水道の整備	6	2	29	都市	A	A	
			下水道事業の効率的・ 安定的な経営	6	2	32	都市	A	A	
	2 危機管理体制 の充実	1 防災体制	防災体制の整備	3	1	1	都市	B	B	
			地域情報通信基盤の利 活用	6	1	22	都市	B	B	
			土砂災害対策の実施	3	1	12	都市	B	B	
		2 地域防災	地域防災力の強化	3	1	3	都市	B	B	
			人づくり・地域づくりの推 進	4	2	6	くらし	B	A	
			要援護者の安全・安心 の確保	4	2	8	くらし	B	B	
		3 原子力	原子力安全対策	3	1	4	都市	B	B	
			原子力防災体制の整備	3	1	5	都市	B	B	
		4 国民保護	国民保護計画の整備	3	1	7	都市	B	B	
		3 消防・救急・救 助体制の充実	1 消防	消防力の強化	3	1	15	都市	A	A
	2 救急・救助体制		救急・救助体制の充実	3	1	17	都市	A	A	
	4 交通安全対策	1 環境整備	交通安全環境の整備	3	2	19	都市	B	B	
			歩道・自転車道の整備	6	1	4	都市	B	B	
			安心して暮らせる道路の 整備・維持管理	6	1	1	都市	A	A	再掲
		2 教育	交通安全施策の推進	3	2	20	都市	A	A	
	5 安心して暮らせ る環境	1 大気水質	自然環境の保全と復元	1	1	1	都市	B	A	
			上水道の整備	6	2	27	都市	A	A	再掲
			簡易水道の整備	6	2	29	都市	A	A	再掲
		2 不法投棄	生活環境の整備	1	1	5	都市	A	A	
		3 低炭素社会	低炭素社会の実現	1	1	8	都市	B	B	

◆松江市総合計画検証委員会項目別意見
(重点プロジェクト)

A : 概ね順調に進んでいる。
B : 予定どおり事業を進め、引き続き効果を検証することが望ましい。
C : 事業効果に疑問あり。目標達成のために手法改善の余地がある。

重点プロジェクト	大項目	中項目	小項目 (主要施策項目)	章	節	実施 計画 (各章の P)	所管 部会	(参考) 前年度 意見	部会意見 A~C	備考
2 安心・安全なまちづくり	6 防犯対策・消費生活の安全	1 防犯	防犯対策の充実	3	2	18	都市	A	A	
		2 消費生活	消費者の自立支援	3	2	21	くらし	A	A	
			消費生活相談	3	2	22	くらし	A	A	
	7 感染症対策	1 感染症	感染症対策	4	3	31	くらし	A	A	
3 ポスト400年祭	1 ポスト400年祭	1 ポスト400年祭	まちあるき観光の推進	5	2	31	経済	B	A	
			歴史的風致の維持・向上	1	2	16	都市	B	B	
			外国人観光客の誘致	5	2	36	経済	B	A	